



藤田 まこと

No. 7

議会だより

六
月
定
例
会

発行者 藤田 まこと
事務所 青森市中央1丁目22-5
青森市議会
社民党・市民の会控室
TEL:017-734-5692
FAX:017-722-8902
印刷所 スタジオとまと
TEL/FAX:017-761-2770

平成24年 第2回青森市議会定例会閉会

先議案件

- 議案92号 青函ワールドの取り外し、運搬、八甲田丸への設置等の経費を予算計上（3,528万円）
- 議案93号 国民健康保険事業、特別会計補正予算、平成23年度収支見込みが、財政調整基金約6億7千万円を全額投入しても、赤字決算を回避できない状況にあり、翌年度の歳入を繰上充用するために必要な予算を計上（1億1,703万1千円）

主な議案

- 議案第94号 豪雪・暴風災害に伴う、農業用施設等復旧経費を計上（1,831万1千円）（専決の承認）
- 議案第95号 震災被害者住宅再取得に伴う、税制上の措置（専決の承認）
- 議案第96号 主な補正予算——豪雪対策経費、大連市公式訪問経費、高齢者福祉対策のための社会福祉施設整備費補助金、虐待防止センターを中心とする相談窓口強化等の経費、国道280号線拡幅工事に伴う森林博物館内物件の移転経費、その他
- 議案第97号 青森市競輪事業特別会計補正予算（30万3千円）
- 議案第98号～議案第113号 監査委員会からの指摘による、各委員会条例の制定について
- 議案第114号 青森市長の調査等の法人を定める条例——青森市長の調査権の拡大を計るもので、これまでの出資額が2分の1を4分の1に改正
- 議案第115号 外国人登録法廃止に伴う改正措置——外国人登録法廃止及び住民基本台帳の一部改正により、外国人住民が住民基本台帳の適用対象に伴う措置
- 議案第116号 各委員会、審議会の設置、組織及び運営について必要な事項を定める
- 議案第117号 附属機関の取り扱いの適正化に伴う、所要の改正を行う
- 議案第120号 小学生までの子どもに係わる医療費助成の方法について拡充等のため

単行案件

- 議案第122号～議案第124号 金沢小学校の校舍建設に係わる工事費を計上（総計15億2,460万6,300円）
- 議案第125号 小学校の授業に使用するノートパソコン799台、サーバ・レーザープリンタ・複合プリンタ各25

台の購入費（6,877万5千円）

議案第126号 浪岡交流センターの指定管理者を指定するための措置（平成23年第3回定例会で否決された事案の内容での再提案）



その他、専決処分繰越明許費等の報告

議員提出議案・意見書の状況

採択された案件

- 青森市中小企業振興基本条例
- 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書
- 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書
- 基地対策予算の増額を求める意見書

不採択された案件

- 大飯原子力発電所の再稼働決定の見直しを求める意見書
- 生活保護の老齢加算復活を求める意見書

新聞記事にぬか喜び

6月23日東奥日報朝刊に青森工業高校跡地利用の記事が掲載されていた。

市から地域の町会に説明されていた内容は下水雨水ポンプ場建設用2500平方メートルを取得、残りの7000平方メートルのうち、2700平方メートルを多目的広場として、有償譲渡を希望し、県と折衝中とのことでしたが、記事内容が異なることから、市に事実確認をしたところ、折衝を継続中で掲載内容の事実はないとのことでした。残念な状況ですが、これを機会に記事通りに全面譲渡を申し入れするよう求めた。



青森工業跡地
1丁目グランド



名前を まころう
と呼びます。
可愛がってください。

* 一般質問 *

1. 高齢者・障がい者の見守りについて
2. 指定障害福祉サービス事業所への監査について
3. 消防職員委員会の開催状況と消防長の処置と反映状況について
4. 青森市消防団の出動手当について

休会中に政務調査し、
上記案件について質問
しました。



ユニティ21推進事業」を社会福祉協議会に委託をしている。

今般、厚生労働省は「人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であつて、本人の同意を得ることが困難であるとき」は、個人情報保護法16条(利用目的による制限)23条(第三者提供の制限)を適用除外できる見解を示した。

2. 指定障害福祉サービス事業所への監査について

障がい者施設において車内での暴行の状況がマスコミで報道されたことや、事業運営に関する情報が寄せられ、市は数度の調査、実地指導を行い、5月18日監査を実施しているため、その内容を質問しました。

答弁

車内での暴行については、現段階では虐待ではないと考えているが、調査での事実関係を把握した上で判断する。しかし、指定基準第3条第2項「利用者の意志及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った指定障害福祉サービスの提供に努めなければならない」の規定に違反にする行為と判断した。

障がい者同士のトラブルがあつた際に、行政への通報のあり方はどのようなになっているのか。

答弁

障がい者同士のトラブルの通報については、指定基準や指導内容に含まれていないが、利用者が怪我をしたとき

は、県・市町村、当該利用者の保護者に速やかに連絡するよう指導している。

3. 消防職員委員会の開催状況と消防長の処置と反映状況について

消防職員の労働条件や被服・装備について意見を聞く委員会が法で定められていることから状況を聞いた。

答弁

消防職員委員会は、職員の意見を伺う貴重な場であるとともに、意見の反映に伴う士気の向上にもつながることから、職員間の意志疎通を図り、よりよい職場環境作りと円滑な消防事務執行のため、今後も引き続き開催していくものである。

また、防火服については今年度から4年間で順次更新するとした。

4. 青森市消防団の出動手当について

北海道・東北の中核市では低いのではないのか

答弁

青森市から消防団に関する事務委託を受けている消防事務組合としては、他都市の支給額との比較調査などをおこなった結果、現時点において妥当であると考えているところでありますが、今後においても、東日本大震災を踏まえ、消防団の活動環境の整備充実と向上に努めていくものである。

青森市消防団機械器具置場にトイレや発電機等の設備が必要ではないか。

答弁

今後においては、消防団の防災活動拠点施設である機械器具置場の環境整備に努め、トイレの設置については、「消防団のあり方」で方針が示された置場の適正配置も考慮に入れ、基本的に、置場の建替え等にあわせて検討することとし、また、発電機等その他の設備については、消防団の活動状況を踏まえ、更に充実を図って参りたいと考えている。

また、消防団の防火服については当面消防職員のを再利用し、新規については検討していくとした。

青森市高齢者健康農園の紹介(総事業費4,408千円)



場所	青森市雲谷
対象	概ね60歳以上の方
期間	5月～11月
面積	1人10坪
内容	団体作付240区画 料金 3,780円(種子・肥料代含む) 自由作付120区画 料金 2,000円

この農園の事業廃止のウサガが流れていますが、担当に聞いたところ、存続に向け取り組んでいるとの事でした。

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党・市民の会控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902